



会員企業の SDGs取組み事例

令和4年6月



一般社団法人
日本埋立浚渫協会

目次

- 【E】 -1 港湾工事の低炭素化・脱炭素化に向けて (作業船の電動化~自動自律化施工へ)
- 【E】 -2 // (作業船のエネルギー転換)
- 【E】 -3 // (低炭素型コンクリートの活用)
- 【E】 -4 生物多様性の保全と豊かな水域環境の創出 (藻場や干潟の創出と維持)
(浚渫土の固化処理による水域環境の改善)
- 【E】 -5 海岸・沿岸の生態系を守るために (海岸清掃活動の実施)
- 【E】 -6 再生可能エネルギーの活用に向けて (洋上風力建設への取組み)
- 【E】 -7 // (カーボンニュートラルポート形成への貢献)
- 【S】 -1 建設現場の働き方改革の推進 (担い手確保のための働き方改革と生産性向上)
- 【S】 -2 D&I (Diversity & Inclusion) の推進 (女性活躍推進) (外国籍社員の活躍推進)
- 【S】 -3 建設産業の担い手確保に向けて (現場見学会の開催)
- 【S】 -4 // (若手交流会の開催)
- 【S】 -5 安全で安心な職場環境の整備 (発注者・協力会社と一体となった安全衛生活動の推進)
- 【S】 -6 港湾建設産業の諸課題の解決に向けて (港湾建設関係団体との連携)
- 【G】 -1 コンプライアンスへの取組み (コンプライアンス研修の実施)

港湾工事の低炭素化・脱炭素化に向けて

作業船の電動化～自動自律化施工へ

● グラブ浚渫船

グラブ巻き下げ時のエネルギーを
回生電力として蓄電して、
巻き上げ時に利用します



● 深層混合処理船

発電設備・統合制御装置、電力回生システム、
コージェネレーションシステム、
太陽光発電や風力発電、燃料改質装置、
発電機自動発停制御システムにより
エネルギー利用を効率化しています



港湾工事の低炭素化・脱炭素化に向けて

作業船のエネルギー転換

短期的には...

燃費改善添加剤等の活用による
低炭素化



中期的には...

代替燃料や再生電力の活用による
低炭素化 ⇒ 脱炭素化



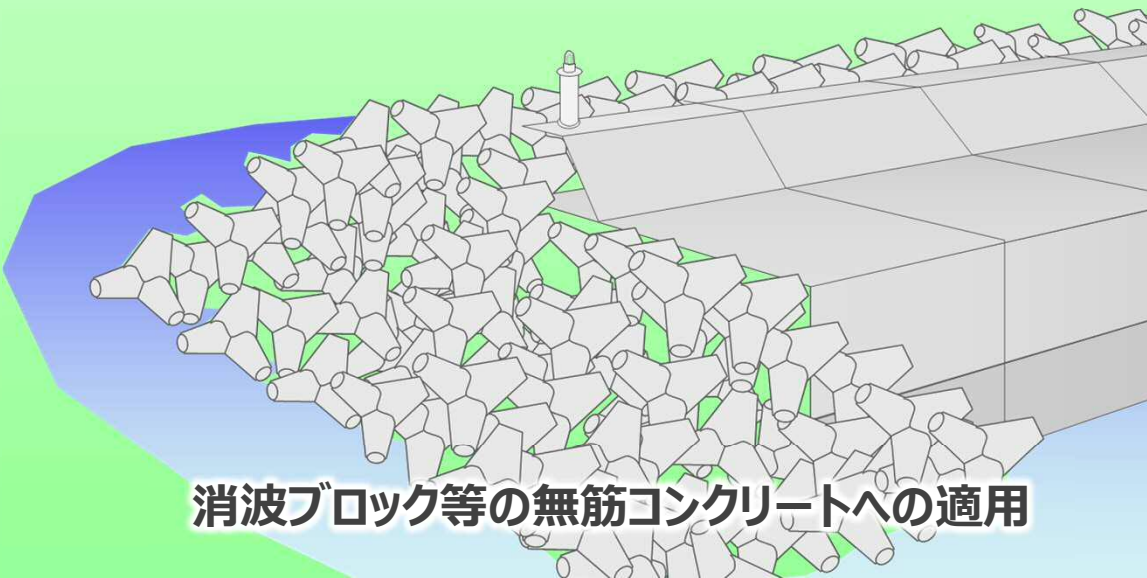
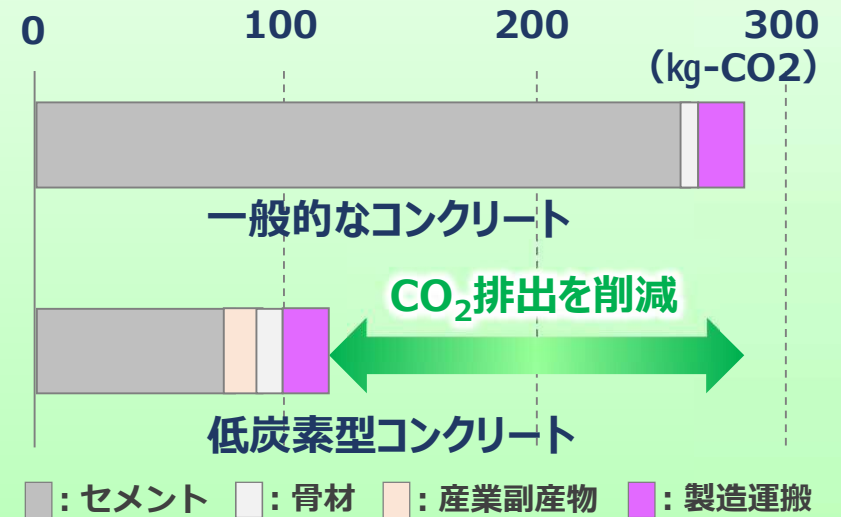
長期的には...

水素・アンモニア燃料による
脱炭素化

港湾工事の低炭素化・脱炭素化に向けて

低炭素型コンクリートの活用

- コンクリート製造時のCO₂排出量削減のため、低炭素型コンクリートの活用を推進します
- 港湾工事における低炭素型コンクリートの実用化に取り組んでいます
 - ・ 消波ブロックへの適用
 - ・ コンクリートプラント船の活用



生物多様性の保全と豊かな水域環境の創出

藻場や干潟の創出と維持

- 海洋環境に配慮した施工はもとより藻場や干潟の造成等 豊かな環境を創造するための工事を行っています
- 海藻や底生生物等の生息状況を調査し、多様な生物の生育環境や沿岸漁場環境の改善に取り組んでいます



浚渫土の固化処理による水域環境の改善

- 浚渫土に改質材を混合して固化処理した改質土は埋立等に活用されています
- 生物付着効果が期待されるため漁礁や藻礁にも活用されています
- CO₂の吸着効果についても研究されています



海岸・沿岸の生態系を守るために

海岸清掃活動の実施

- 沿岸に流れ着いたプラスチックゴミ等を拾い集める
清掃活動に取り組んでいます



清掃活動には工事関係者だけでなく発注者も参加して

海岸の美化だけでなく地域の環境意識の向上にも貢献しています

再生可能エネルギーの活用に向けて

洋上風力建設への取組み

2050年カーボンニュートラル実現のため
再生可能エネルギーの主力である
洋上風力発電の供給拡大に貢献します



再生可能エネルギーの活用に向けて

カーボンニュートラルポート（CNP）形成への貢献

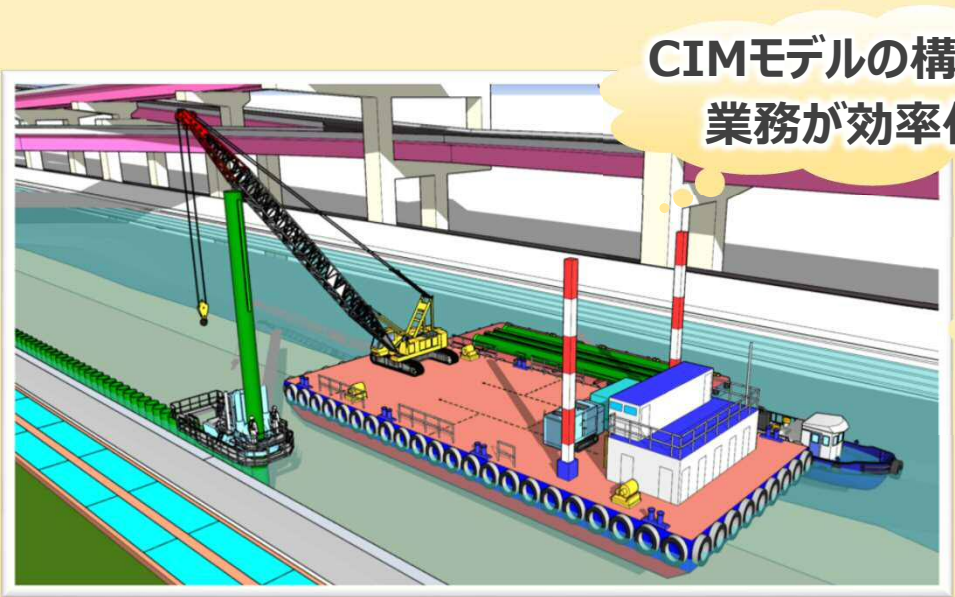
- CNPは、港湾を水素やアンモニアの輸入・貯蔵基地として港湾機能の高度化を図り、集積する臨海部産業と連携した脱炭素化推進の拠点を目指している
- 燃料受入施設等の整備、港湾工事のCN化を通じてCNPに貢献します



建設現場の働き方改革の推進

担い手確保のための働き方改革と生産性向上

- 港湾工事で働く全ての技術者と技能者の週休二日実現に取り組んでいます
- ICT技術の活用により施工生産性の向上に取り組んでいます
- BIM/CIMモデルを用いて施工や検査の効率化を推進しています
- 建設DXの推進は、生産性向上だけでなく、安全・品質向上にもつながります



ナローマルチビームソナーで
高精度な測量を実現





D&I (Diversity & Inclusion) の推進

～多様な人材が互いを活かす職場へ

女性活躍推進

- 女性が働きやすく活躍できる職場環境の整備を推進しています
- 若手女性職員研修で、キャリアパスや育児と仕事の両立を支援しています



外国籍社員の活躍推進

- 外国人留学生等の外国籍社員を日本人と同じ待遇で採用し、外国籍社員が働きやすい職場環境を整備しています
- 日本語教育や外国籍社員向け研修を実施しています



建設産業の担い手確保に向けて

現場見学会の開催

- 「うみの現場見学会」を各地で開催して港湾工事の特長や魅力を社会に発信し、地域社会との共生を図っています
- 港湾整備の重要性や建設会社の役割を学生等の若年層に理解してもらい、建設業をより身近に感じてもらえるよう取り組んでいます

普段目にする機会がない
工事現場が見学できました

非常に興味深く
有意義な時間が過ごせました

海洋土木の仕事に
ますます興味が持てました





建設産業の担い手確保に向けて

若手交流会の開催

- 若手職員の啓発や積極的な学びの場として、
地方整備局等のご協力を得て「官民若手交流会」を開催しています
- 現場見学では多くの若手技術者が参加し、日々取り組んでいる業務、
仕事の工夫や感じていることなどを意見交換しています



安全で安心な職場環境の整備

発注者・協力会社と一体となった安全衛生活動の推進

- 各支部では、発注者との合同安全パトロールや安全教育実習を実施し、労働災害の撲滅に向けた取組みを官民共同で推進しています



- 工事安全と品質確保に協会を挙げて取り組むため、本部役員による安全パトロールを実施しています





【S】社会 パートナーシップで目標を達成しよう



港湾建設産業の諸課題の解決に向けて

港湾建設関係団体との連携

- 日本埋立浚渫協会は、港湾工事の特性を踏まえ、日本港湾空港建設協会連合会、日本海上起重技術協会、全国浚渫業協会、日本潜水協会と連携して、港湾建設産業の諸課題の解決に取り組んでいます

日本埋立浚渫協会（埋浚協、清水琢三会長）と日本港湾空港建設協会連合会（日港連、林田博会長）、日本海上起重技術協会（海技協、寄神茂之会長）、全国浚渫業協会（全浚協、金澤寛会長）、日本潜水協会（潜水協、鉄芳松会長）の港湾建設関係5団体が、週休2日を核とした働き方の推進で連携を強化する。休日が増えても技能労働者の総収入が減らない対策や船舶損料の引き上げなどを課題として列挙。解決策の検討や情報発信などで協力し、港湾工事全体で働き方改革の推進を図る。

港湾工事の
働き方改革

5団体が連携強化

埋浚協ら週休2日核に一体で

働き方改革（週休二日の推進）



働き方の実態調査

作業船船員の働き方改革
(作業船居住設備のガイドライン)
(船舶損料のあり方)

潜水士の技能資格に配慮した評価

建設キャリアアップシステムの活用推進

i-Construction推進とICT関連の人材育成

作業船係留場所の確保



コンプライアンスへの取組み

コンプライアンス研修の実施

- 港湾建設業の「サステナビリティ」を支える根幹は、高い倫理観で安全最優先の確実な施工と品質確保を実現し、良質な社会インフラの建設に貢献することです
- 本部及び各支部では定期的にコンプライアンス講習会を実施しています

